

大阪府

中部農と緑の総合事務所 森林課
和泉 瑤伽

「高尾山創造の森」整備における林業普及指導員の支援について

1 テーマの趣旨・目的

「高尾山創造の森」は、大阪府（以下、「府」という。）の東側、生駒山系の南端の柏原市（以下、「市」という。）に位置する約 26ha の森林である（図 1）。森林内には多くの古墳があり、地域の自然や歴史に触れられる施設として、昭和 63 年から市と府が協同で整備を続けている。林内を巡る作業路や、林内作業場等の施設が整備されている（写真 1）。また、最寄り駅から徒歩 10 分の位置にあり、尾根沿いには長距離自然歩道である生駒縦走歩道があること等から、主に地元の方やハイカーに親しまれている。



（図 1：高尾山創造の森 位置図）



（写真 1：ケヤキ林内を見渡せる林内作業場）

市では、このような豊かな自然環境を活かし、市と市教育委員会、大阪教育大学の共催で、森林体験学習に取り組んでいる。小学 5・6 年生を対象とし、1 年を通して森林の役割や整備の方法を学習し、森林内で森の観察や間伐体験を行う。これにより、小学生が森林についての知識や技能を身につけ、森林に関する諸問題を主体的に考え、解決する姿勢を育むことを目的としている。

このような森林体験学習に対し、林業普及指導員が間伐体験等における技術支援を行ってきた。従前より行ってきた技術支援の内容は、主に直径 10cm 程のスギやヒノキを、小学生がノコギリで伐倒する間伐体験であった。体験を行った小学校からは、小学生が伐採を体験できて良かったとする意見があった一方で、実際に林業事業者等が行う間伐作業を見学させたいという要望が寄せられた。

この要望を受けて、高尾山創造の森で行った、市の森林環境学習と府の森林整備事業の連携について紹介する。

2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 現状及び取組内容・成果

小学生約 60 名の間伐見学の要望を受け、森林環境学習と合わせて、高尾山創造の森における府の森林整備事業を実施できるか検討した。間伐が必要な候補地の中から、小学生が安全に見学できる箇所をピックアップした。その中で、林内をよく見渡せる林内作業場があるケヤキ林で、間伐を実施する計画とした（写真 1）。そこで、森林整備を委託する林業事業者に掛け合い、間伐の実施時期に合わせて小学校の見学日程の調整し、令和 5 年 1 月に林業事業者による間伐見学を実現した。

まず林内作業場において、林業普及指導員より間伐の事前説明を行った（写真 2）。小学生は授業で予め森林に

別紙 4

ついて学習していたことから、事前説明においても質問が多く飛び交った。その後、林業事業者がチェーンソーで2本のケヤキを伐倒し、小学生はその様子を林内作業場から見学した。10mを超えるケヤキの伐倒にあたり、小学生はチェーンソーの音や、メキメキと木が伐倒される様を目の当たりにして大変驚いた様子であった（写真3）。見学後、小学校からは次年度以降も同様に間伐見学を実施してほしいと好評であった。



（写真2：間伐前に作業内容を説明）



（写真3：伐倒後に伐採木を確認）

（2）課題

今回の森林環境学習と森林整備事業の連携の取組を通して、以下の課題が明らかになった。

①間伐の実施箇所は見学に適さない場所が多い。

令和4年度は、林内作業場を見学スペースとして使用した。しかし、間伐を必要とする森林の多くは、傾斜があり足元が悪く、また林内が鬱蒼としていることから、小学生が安全に見学できる箇所は限られる。

②見学を希望するすべての学校での実施は困難。

市では、市教育委員会から各小学校に対して要望調査を行い、要望のあった小学校に対して森林環境学習を実施している。令和4年度は2校の要望があったが、間伐見学を実施できたのは1校のみであった。短い間伐作業の期間に、小学校の見学日程を調整することが難しかったためである。市では今後、森林環境学習の実施校の拡大を計画しているが、間伐の作業期間内にすべての学校で同様に見学を実施するのは困難である。

③施設の老朽化に伴い安全性に不安がある。

高尾山創造の森は、整備から約35年が経過し、作業路の丸太階段等の木製施設は老朽化している状況にある（写真4）。見学を行った林内作業場においても、床板の腐朽が進行し、府市ともに再整備に苦慮している。



（写真4：腐朽が進行する丸太階段）

3 今後取組むべき内容

このような、高尾山創造の森における、市の森林環境学習と府の森林整備事業の連携についての課題解決のため、関係機関との情報共有がより一層必要であると感じた。そのため、令和5年度より「高尾山創造の森担当者会議」を組織化した。今後は本会議を通じて、森林環境学習の実施を前提とした森林整備の計画や、安全な実施のための施設整備についての検討を行い、高尾山創造の森の森林環境学習の場としての継続的な活用に、林業普及指導員として積極的に取り組んでいきたい。